

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 フェイシャルエステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 300	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:新エステティック学「技術編Ⅰ」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	榊原 万里	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, 認定指導講師	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	認定上級エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 施術の種類と手技またその役割・効果を実践的に学ぶ ● フェイシャルエステティックに使用する機器の種類・役割・使い方を実践的に学ぶ ● 施術における禁忌事項を実践的に学ぶ <p>※ 各施術における禁忌事項を確実に実行でき施術手技や機器が正しく操作できる技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 各施術の手技・機器の特徴・効果を基に禁忌事項を含めた技術的な口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

令和6年度 年間授業計画表および進行表 No.1

前期 区分:技術課程 科目: **フェイシャルエステティク** 160H

必須250H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
施術前準備	1). ご案内～ベッドメイキング	1.0		
クレンジング	1). ポイントクレンジング～クレンジング	11.0		
復習	1). 技術確認	1.0		
拭き取り	1). 拭き取り・スチームタオル	5.0		
復習	1). クレンジング～拭き取り～スチームタオル	10.0		
強化対策	1). ご案内～スチームタオル 2). 強化対策	1.0		
フィードバック	1). 技術フィードバック・見直し・復習	3.0		
実技チェック 1	1). ポイントクレンジング～スチームタオル	3.0		
ディーパークレンジング 1	1). ディーパークレンジングとは 2). ブラシ・吸引	4.0		
通し練習	1). クレンジング～ブラシクレンジング 2). 通し練習	4.0		
対策	1). 中間試験対策 2). 通し練習	11.0		
ディーパークレンジング 2	1). ガラス管の使用方法 2). 中間試験通し	4.0		
ディーパークレンジング 3	3). ブラシクレンジング 4). ブラシの密着と力加減に注意する	8.0		
中間試験	1). ご案内～ポイント～クレンジング～ブラシ	3.0		
復習	1). 中間試験内容復習	4.0		
校内イベント練習	1). カウンセリング～クレンジング～ 2). ブラシ～ガラス管～仕上げ	8.0		
マッサージ 1	1). リズムと力加減	5.0		
マッサージ 2	2). クレンジング～ブラシ～ガラス管～ 3). マッサージ～仕上げ	7.0		
合計		93.0		0.0

令和6年度 年間授業計画表および進行表 No 1

後期 区分:技術課程 科目: **フェイシャルエステティク** 140H

必須250H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
応用マッサージ 1	1). トラブルに合ったマッサージ手技・手法	4.0		
通し練習 1	1). カウンセリング～Dクレ～マッサージ 2). パックまで	6.0		
クイックエステ(外部モデル)	1). 外部モデル(OC) 2). クイックエステ手技	6.0		
通し練習 2	1). 酵素～イオン導入～マッサージ～パック	6.0		
応用マッサージ 2	1). 手の密着の意識	4.0		
コンサルテーションシート 1	コンサルテーションシート作成	4.0		
パターン	1). リンパ節とスピードの意識	6.0		
合同実習	2). 2年生合同実習	6.0		
応用マッサージ 3	強弱とリズムの意識	4.0		
コンサルテーションシート 2	1). トラブルに合わせたプラン作成	6.0		
カウンセリング	1). 機器と適応肌の見極め 2). パック・仕上げ	6.0		
通し練習 3	1). クレンジング～Dクレ～電気～マッサージ 2). パック～仕上げ	6.0		
中間実技試験	1). 後期中間実技試験	3.0		
おもてなし実習 1	1). おもてなし実習練習 2). プラン作成	12.0		
おもてなし実習 2	1). おもてなし実習練習 2). プラン作成	6.0		
外部モデル(イベント)	1). クリスマスイベント練習 2). プラン作成	6.0		
校内イベント(外部モデル)	1). クリスマスイベント 2). カウンセリングからアドバイスまで	6.0		
試験対策	1). 実技試験対策 2). 口答試問対策	12.0		
合計		109		0.0

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 ボディエステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 240	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:新エステティック学「技術編Ⅰ」 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	黒瀬 今日子	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, 認定講師	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	認定上級エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● ボディエステティックの役割・効果実践的に学ぶ ● 施術の種類と手技またその役割・効果を学ぶ ● ボディエステティックに使用する機器の種類・役割・使い方実践的に学ぶ ● 施術における禁忌事項を実践的に学ぶ <p>※ 各施術における禁忌事項を確実に実行でき施術手技や機器が正しく操作できる技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 各施術の手技・機器の特徴・効果を基に禁忌事項を含めた技術的な口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

令和6年度 年間授業計画表および進行表 No.1

前期 区分:技術課程 科目: **ボディエステティック** 110H

必須210H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
マッサージ 1	1). 三大軽擦 2). 体重移動について	4.0		
マッサージ 2	1). 下肢後面 2). (デモンストレーション～相モデル)	4.0		
復習	3). 復習(下肢後面)	10.0		
マッサージ 3	1). 腰背部 2). (デモンストレーション～相モデル)	4.0		
復習	3). 復習(下肢後面～腰背部) 4). 体重移動と手の密着を意識する	6.0		
実技試験対策	1). 中間実技試験内容通し練習	15.0		
強化	1). 不得意強化	6.0		
中間実技試験	1). ボディ実技試験 ※下肢後面・腰背部	4.0		
マッサージ 4	1). 腹部 2). (デモンストレーション～相モデル)	4.0		
復習 1	1). 復習(下肢後面～腰背部) 2). 不得意部分復習	4.0		
校内イベント練習	1). サマーイベント手技 2). カウンセリング～マッサージ	4.0		
マッサージ 5	1). 上肢 2). (デモンストレーション～相モデル)	2.0		
復習 2	1). 腹部・上肢 2). 体重移動を意識する	4.0		
マッサージ 6	1). 下肢前面 2). (デモンストレーション～相モデル)	4.0		
復習 3	1). 復習(下肢両面) ※体重移動を意識する	4.0		
復習 4	1). ボディマッサージ 2). 下肢両面・腰背部	4.0		
復習 5	1). ボディマッサージ 2). 腹部・上肢・腰背部	4.0		
サクシオン	1). サクシオン 操作方法 2). リンパ節の役割	4.0		
	前期小計	91.0		0.0

令和6年度 年間授業計画表および進行表 No 1

後期 区分:技術課程 科目: **ボディエステティック** 130H

必須210H

項目	指導内容	予定時間	実施予定日 実施日	実施時間
電気機器の選択	1). トラブルに適した機器の選択の方法	4.0		
外部モデル(OC)	1). 外部モデルによるトリートメント ※OCモデル	12.0		
コンサルテーションシート1	1). ボディカウンセリングの方法	6.0		
	2). コンサルテーションシートの作成	4.0		
合同実習	1). 2年生合同実習	4.0		
プラン作成	1). トラブルに合ったプラン作成	4.0		
復習	1). 通し練習 2). 不得意部分の復習	6.0		
電気機器(復習) 1	1). G5 ヘッドの当たり方に注意する	4.0		
電気機器(復習) 2	2). 低周波 3). 筋肉に対する効果	4.0		
電気機器(復習) 3	4). サクシオン スピード意識	4.0		
中間実技試験	1). 後期中間実技試験	3.0		
フィードバック	1). 中間試験内容復習	4.0		
おもてなし実習 1	1). おもてなし実習練習 2). プラン作成	12.0		
おもてなし実習 2	1). おもてなし実習練習 2). プラン作成	4.0		
外部モデル(イベント)	1). クリスマスイベント練習 2). プラン作成	4.0		
校内イベント(外部モデル)	1). クリスマスイベント 2). カウンセリングからアドバイスまで	6.0		
実技試験対策	1). 実技試験対策	6.0		
上級模擬実技試験	1). 上級模擬実技試験	4.0		
	後期小計	95.0		0.0

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程 (実技)	科目名 メイクアップ (実務経験教員等による授業)	総時間 36	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定教科書:日本メイクアップ技術検定教科書 ・ 規定専用問題テキスト 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	平野 逸美	・ エステサロン実務	メイクアップ2級、認定上級エステ	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎スキンケアの方法を実践的に学ぶ ● ベースメイクからナチュラルメイクの基礎を実践的に学ぶ ● カバーリングメイク・カウンセリングメイクを実践的に学ぶ <p>※ 基礎スキンケア・ナチュラルメイクおよびカバーリング・カウンセリングメイクの技術を習得する</p>				
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期実技試験の点数およびその内容により評価。 ・ 基礎スキンケアからナチュラルメイクまでの技術について口答試問の内容により評価 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

学 年 1	区分・理論・実技 技術課程・選択 (実習)	科目名 サロン実習 (実務経験教員等による授業)	総時間 20	期 前 期 後 期
使用教科書・教材等			担当教員	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校協力会社による「サロン実習研修」 ・ 学校「学生サロン」にて研修 				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験	有する資格	
常勤	榊原 万里	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, 認定指導講師	
常勤	黒瀬 今日子	・ エステサロン実務	CIDESCO国際資格, 認定講師	
常勤	福山 裕美	・ エステサロン実務	認定エステ資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ● 研修サロン(エステ・ネイルなど)における業務を実践的に学ぶ ● 研修学生サロン(エステ・ネイルなど)において各施術を実践的に学ぶ ● 校内イベントによるサロン実践業務を技術的に学ぶ 				
※ 各サロンでの業務を実践的な技術・接客力を習得する				
<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細は教育計画および進行表による 				
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 各研修サロンにおいての研修内容とその取組み内容により評価。 <p>秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。</p> <p>ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。</p>				

